

日本医史学会会報

56号(復刊)

令和2年10月30日

第122回日本医史学会総会・学術大会開催のご案内	会-1
第121回日本医史学会 会員大会	会-3
(資料A) 2019年度 関連医史学団体報告	会-6
資料1~3	会-13
雑報(寄贈本リスト)	会-16
日本医史学会への寄付金について	会-18

第122回日本医史学会総会・学術大会開催のご案内

会長 長野 仁

新年を目前にコロナ第3波が本格化しておりますが、日々の診療に奮闘していらっしゃる会員の皆様に改めて敬意と謝意を表させていただきます。

第1報で申し上げましたように、本学会の第122回の総会・学術大会は、新史料が続出している出雲地方での開催を企画し、来年9月18・19日(土・日)に島根大学の松江キャンパスで開催する運びとなりました。名誉会長の公益財団法人いづも財団事務局次長・梶谷光弘先生ならびに大会顧問の島根大学法文学部教授・田中則雄先生の現地でのご尽力に、心より感謝申し上げます。すでにご案内のように、今年度のオンライン開催が決定し、来年度もコロナ禍の状況によっては一堂に会することが危ぶまれるわけですが、現地開催を大前提に鋭意努力して参る所存です。

さて、私が医史学の道に足を踏み入れて30年が経ちますが、専門家のみならず一般の方々か

ら、日本ひいては世界の医学史にこれほどの熱視線が注がれたのは初めてのことです。コロナやパンデミックの関連書が書店に溢れ、テレビではNHKだけでなく民放各局も感染症の歴史に関する特番を頻繁に組んでおります。一日も早いワクチン・特效薬の開発・供給が待ち望まれる中で、いま学ぶべきは歴史の教訓である、という民意の表れにほかなりません。メディアで発信力の強い日本史家、本郷和人氏(井沢元彦氏と共著)の『疫病の日本史』と磯田道史氏の『感染症の日本史』が緊急出版されている現状を鑑みれば、日本医学会の第1分科会である本学会としても、専門家の立場からのコロナ禍の考察は、とうぜん射程に加えるべき課題です。かかる特別講演は一般公開とし、ソーシャル・ディスタンスに細心の注意を払いつつ、地元の皆様に有益な情報発信をいたすつもりです。

そもそも、出雲を候補地とした理由の一つとして、慶長期に渡来した明国の鍼医・琢周の肖像画の発見が挙げられます。梶谷先生の快挙によって、架空の人物の可能性すら否めなかった来日医家の実在が確定的となり、加えて琢周の流れを汲み、出雲大社とも関わりとされる吉田一貞の『刺鍼家鑑集』が寛文元年(1661)に編纂されてから360年の節目に当たることも時宜に適っておりました。

また、現地で有名な話の割には斯界に知られていませんが、曲直瀬道三の師匠筋に当たる田代家の子孫は松江藩医として代々仕官し、今日に至るまで家系は存続してきたのです。そして近年、歴伝の薬師如来像が同家から松江歴史館へ帰すところとなり、会期に合わせて同館に展示していただくべく準備を進めております。

吉田家は全ての鍼穴を中国風の和俗名に置換えし、田代家は生薬の一字銘を独創していることから、中国鍼灸・医薬を自国化していくプロセスについて、両家の家学をモデル・ケースとして、その伝承の地において議論を深めたいと考えております。

かつて、当地で活躍された米田正治先生は、『島根県医家列伝』(1972)、『島根県医学史覚書』(1976)、『続島根県医家列伝』(1978)を相次いで上梓され、地方医学史の掘り起こしに邁進されましたが、昨今の新史料の続出によって、およそ半世紀ぶりに史実を更新するチャンスが到来しております。よって、教育講演は新史料を踏まえた出雲地方医学史の総括および松江藩洋学史・医学史

の再認識に関する内容といたします。そして、会期翌日の20日(月)のオプション・ツアーにつきましても、教育講演と連動した内容とするべく、所蔵機関との調整を進めて参ります。

ようやく第1回目の実行委員会が現地で開催できたのは、緊急事態宣言の発出や島根県独自の施策の影響によって、当初予定から8カ月遅れの10月23日のことでした。来年のコロナの様相もオリンピック・パラリンピックの開催も不透明な中、特別講演(公開講座、入場制限に備えて同時配信も検討中)、教育講演、シンポジウム等の人選に難航いたしました。目下、交渉中の先生もいらっしゃいますが、大枠を決めることができ安堵している次第です。受諾いただきました諸先生に、心より御礼を申し上げます。

未曾有のコロナ禍の中、遠路はるばる松江市にご参集いただくことになるのに加え、今年度中止に追い込まれた松江水郷祭(湖上花火大会)が会期と重なる可能性も出て参りました。大会の余興としては最高なのですが、仮にそうなりますと切符・航空券・宿泊先の確保が平時より難しくなり、市内に交通規制が布かれる場合もありますので、当地の大規模イベントの動向を注視し、学会のホームページ上で最新情報をお知らせしていく所存です。

以上、開催のご案内をさせていただきました。実行委員一同、第122回の総会・学術大会の開催に向けて精一杯尽力いたしますので、ご支援ご協力のほど何とぞ宜しくお願い申し上げます。

第121回日本医史学会 会員大会

去る2020年9月に社員総会が書面決議にて開催され、下記の報告が承認され、協議事項について全ての議案が可決されました。

I. 報告事項(2020年3月31日現在)

1. 2019年度庶務報告

(1) 会員の動静

- ・ 入会者 30名
- ・ 退会者 37名

死亡会員 3名

多賀須幸男 (2019年4月8日逝去)

宮川創平 (2019年11月2日逝去)

安川里香子 (2020年3月29日逝去)

都合退会 34名

- ・ 現在会員数 763名

正会員	674名	(内 団体会員 16名, 海外会員 44名)
学生会員	35名	名誉会員 8名
功労会員	14名	賛助会員 1名

(2) 受賞

2019年5月18日

第31回矢数医史学賞

代表 宮川浩也

2019年5月18日

第25回富士川游学術奨励賞

加畑聡子

2. 2019年度事業報告

事業名		内 容	
日本医史学雑誌		第 65 巻第 2・3・4 号, 第 66 巻第 1 号 発行	
第 120 回日本医史学会総会 会長 <small>やまうちかづのぶ</small> 山内一信		愛知県産業労働センター (愛知県)	2019 年 5 月 18 (土) ～ 19 日 (日)
日本医史学会月例会		順天堂大学	4, 10, 11, 1 月 第 4 土曜日
日本医史学会 6 月例会		日本医科大学同窓会館 橋桜会館	2019 年 6 月 22 日
日本医史学会 9 月例会	共催	日本医史学会神奈川地方会秋季例会との合同	
		鶴見大学	2019 年 9 月 28 日 (土)
日本医史学会 12 月例会	共催	日本薬史学会・日本獣医史学会・日本歯科医史学会・ 日本看護歴史学会・洋学史学会との合同	
		順天堂大学	2019 年 12 月 21 日 (土)
神農祭	協賛	湯島聖堂	2019 年 11 月 23 日 (土・祝)
医心方と京都の医学史展 2019	特別 協力	護王会館護王神社	2019 年 11 月 1 日 (金) ～ 3 日 (日・祝)

3. 第 32 回矢数医史学賞選考委員会報告

にしきこだいすけ
西迫大祐『感染症と法の社会史—病がつくる社会—』(新曜社)

4. 第 26 回富士川游学術奨励賞選考委員会報告

かわはら ゆかり
川原由佳里「東南アジアにおける英国看護婦の経験—ビルマ戦での看護に焦点を当てて—」
(日本医史学雑誌第 65 巻第 4 号掲載)

5. 関連医史学団体報告 (資料 A)

II. 協議事項

第1号議案 2019年度決算報告に関する件(資料1-2)

第2号議案 2020年度事業計画に関する件

事業名		内容	
日本医史学雑誌		第66巻第2・3・4号, 第67巻第1号 発行	
第121回日本医史学会総会 会長 弦間昭彦 実行委員長 志村俊郎		オンライン開催	2020年12月19日(土) ~28日(月)
第122回日本医史学会総会 会長 長野 仁	(準備)	島根大学松江キャンパス (島根県)	2021年9月18日(土) ~19日(日)
第123回日本医史学会総会 会長 土手健太郎	(準備)	(愛媛県)	2022年
第124回日本医史学会総会 会長 町 泉寿郎	(準備)	(東京都)	2023年
日本医史学会月例会		順天堂大学	10, 11, 1, 3月 第4土曜日
日本医史学会9月例会	共催	日本医史学会神奈川地方会秋季例会との合同	
		鶴見大学	2020年9月26日(土)
医心方と京都の医学史展	特別協力	護王会館護王神社	2020年11月1日(日) ~3日(火・祝)

第3号議案 2020年度予算に関する件(資料3)

第4号議案 その他

- ・日本医史学会総会・学術大会候補者の推薦について
推薦があった以下の総会・学術大会が決定した。
第125回日本医史学会総会 会長 瀧澤利行(茨城県)

(資料A)

2019年度 関連医史学団体報告

北海道医史学研究会

北海道医史学研究会の2019年度の活動はございません。

新潟支部

今年度は支部としての例会、発表は行われなかったが、蒲原宏名誉会員の監修により、新潟市中央区の新潟日報社ビル・メディアシップ「にいがた文化の記憶館」において9月10日～12月1日の約3か月間、「病とたたかう 近代医学と新潟県人」が開催された。同展では新潟県出身の桑田立斎、司馬凌海、池田謙斎、長谷川泰、石黒忠恵らの事績を紹介した。新発田藩(新潟)出身の江戸の種痘医・桑田立斎に関係の資料が初めて展示されたことから、立斎の玄孫の方々も来館された。

なお支部事務局の所在は従来通り、日本歯科大学新潟生命歯学部医の博物館である。2019年度(平成31・令和元)中の支部会員の学会発表などは次の通りである。

1) 学会・研究会などでの発表

- A) 第120回日本医史学会総会(5月18～19日 名古屋市中村区・ウインクあいち)
- ①股野玉川と南木龍江 西巻明彦
 - ②医の博物館所蔵の解剖絵巻「解観大意」について 佐藤利英・樋口輝雄
- B) 第47回日本歯科医史学会総会(9月28日 東京都文京区・東京ガーデンパレス)
- ①日本歯科大学創立者 中原市五郎先生と開発された各種咬合器について 佐藤利英
 - ②道教にみる叩歯 西巻明彦
 - ③近世儒学者のネットワークと蘭学の受容 西巻明彦
 - ④日本歯科医学専門学校指定第1回卒業式(1912年)での大隈重信伯爵の祝辞 樋口輝雄

2) 講演

- ①医学の歴史から見たオランダと新潟
(4月15日 新潟市中央区・新潟ホテルオークラ 主催:新潟オランダ協会) 蒲原 宏
- ②新潟の近代化に貢献した外国人医師たち
(4月20日 新潟市中央区・NHK新潟文化センター 主催:NHK新潟) 蒲原 宏
- ③新潟の明治維新開化期のイギリス人宣教医ゼオバルド・エドリアン・バームの生涯
(9月21日 新潟市中央区・クロスバル新潟 主催:新潟市郷土史研究会) 蒲原 宏
- ④新潟の医学近代化のあけぼのの命を支えた医師たちの足跡
(9月25日 新潟市中央区・メディアシップ 主催:新潟文化の記憶館) 蒲原 宏
- ⑤新潟医学校の4人の外国人医学教師
(12月12日 新潟県中央区・新潟県医師会館 石像除幕式 主催:新潟県医師会) 蒲原 宏
- ⑥長岡藩出身・明治の医学教育者 長谷川泰
(10月26日 新潟市中央区・メディアシップ 主催:新潟文化の記憶館) 佐藤利英

3) 著作・論文等

- ① 沖縄のチャップリン—小那覇舞天こと小那覇全孝先生—
日本歯科医史学会々誌. 33(2): 150-164. 佐藤利英
- ② 整形外科の歴史(259~270) 20世紀から初頭から中期へ
—アメリカ整形外科の近代化(109~120)
『整形外科看護』24巻1号~12号(2019年1月~12月)に連載. 蒲原 宏
- ③ 医学史研究夜話(1) 辛夷の花が咲いていた—ミセス・パームの墓—
雪. 42(10): 56-59. 蒲原 宏
- ④ 医学史研究夜話(2) 杉田玄白の蘭学事始と「鵜斎日録」雪. 42(11): 66-69. 蒲原 宏
- ⑤ 医学史研究夜話(3) 北里柴三郎の光と影(1) 雪. 42(12): 51-55. 蒲原 宏
- ⑥ 医学史研究夜話(4) 北里柴三郎の光と影(2) 雪. 43(1): 54-59. 蒲原 宏
- ⑦ 医学史研究夜話(5) 芭蕉門下の俳人医師(1) 雪. 43(2): 54-57. 蒲原 宏
- ⑧ 医学史研究夜話(6) 芭蕉門下の俳人医師(2) 雪. 43(3): 57-61. 蒲原 宏

〒951-8580 新潟市中央区浜浦町1-8 日本歯科大学新潟生命歯学部医の博物館内
電話 025(267)1500 e-mail: museum@ngt.ndu.ac.jp 日本医史学会新潟支部(樋口輝雄)

北陸支部

1. 会員数: 38名(令和元年7月7日現在)

2. 活動報告:

- (1) 第41回例会・総会: 令和元年7月7日(日)
世話人: 山本 博
会場: 金沢大学サテライトプラザ
プログラム:
一般講演: 板垣英治「久田督著『尋常中学校・尋常師範学校・化学教科書』の紹介」
篠原治道「家の断章1. 富山県射水市小杉町 石川家①」
吉村 信「洛陽龍門石窟の野生地黄」
山本 博「小松地方への種痘導入について」
- (2) 『北陸医史』第42号発行: 令和2年2月17日
- (3) 幹事会・連絡会: 中止(新型コロナウイルス感染防止の措置により)

3. 連絡先:

〒920-8640 金沢市宝町13-1
金沢大学医薬保健研究域医学系血管分子生物学教室内
北陸医史学会事務局(篠原治道, 新村祐子)
電話: 076-265-2182
E-mail: n-yuko@med.kanazawa-u.ac.jp

神奈川県地方会

神奈川県地方会におきましては、今年度は第53回の集会を開催致しました。今月3月14日に予定しておりました第54回は新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、中止と致しました。

以下第53回のプログラムを紹介させていただきます。

○第53回神奈川県地方会秋季例会と日本医史学会の合同例会

日時：2019年9月28日(土) 14:00～17:00

場所：鶴見大学会館

企画『戦中戦後の医療・看護体制を振り返る』

14:00 開会挨拶 松田隆秀

講演I 14:05～14:50

座長：石上友章

演者：順天堂大学医学部医史学研究室 鈴木紀子先生

『衛生兵の語りから受け継ぐ歴史—元衛生兵へのインタビューを通して—』

講演II 14:50～15:50(講演50分、質疑10分)

座長：桐生迪介

演者：日本赤十字看護大学 川原由佳里先生

『第二次世界大戦におけるビルマ派遣日本赤十字社救護看護婦の復員過程』

特別講演 16:00～17:00(講演50分、質疑10分)

座長：関根 透

演者：社会医療法人敬愛会理事長 宮里善次先生

『沖縄で活躍した最後の医介輔：父の生涯を見つめて』

閉会挨拶 島田道子

大勢の参加者があり、盛会のうちに終了致しました。

2020年3月31日

日本医史学会神奈川県地方会事務局

東海支部

1. 下記講演会の後援活動を行った。

『伊藤圭介日記』(第25集)出版記念会—洋学史学会12月例会共催—

令和元年12月1日(日)午後1時～4時(於名古屋市東山植物園植物会館研修室)

【記念講演】

二宮敬作がシーボルトに贈った固有種トサミズキの学名とその標本

伊藤圭介の「浪越文通用事留」

伊藤圭介と清国副公使・張斯桂との交流

『小石川植物園草木図説』について(3)—現存する「巻二」版本の比較—

ヒトツバタゴとそれに関わった人々

新出の伊藤篤太郎履歴資料について—翻刻と解説—(1)

キュー王立植物園所蔵の伊藤篤太郎関係資料について(2)

加藤偉重氏

杉村啓治氏

吉村美香氏

邑田裕子氏

田中純子氏

平野 恵氏

岩津都希雄氏

伊藤宏氏と東山植物園の伊藤圭介記念室

蒲原政幸氏

(山内一信・高橋 昭)

関西支部

▽日本医史学会関西支部2019年秋季大会(春季は開催なし)

令和1年11月17日(日) 於・大阪市立大学医学部学舎4階小講義室 京都医学史研究会共催

〈一般演題〉

1. ベルツ博士ゆかりの地を訪ねて感じたこと 山上勝久(大阪市立大学)
2. 「ハナとベルツ…未完の映画台本から」 古来啓蔵(日本ペーリンガー・インゲルハイム社)
3. 『京都新報』にみる粟田口仮療養病院開業式 八木聖弥(京都府立医大)
4. 兵庫医科大学創立と森村茂樹・初代理事長 飯塚修三(いづか眼科)
5. 「家伝心牛」を冠する二冊『針治経』(京雨書屋)と『針治要略』(京大藤川文庫)の調査
松木宣嘉(四国医療専門学校)
6. 『儒医姓名録』続報一事跡の判明した後藤良山の門人一 長野仁(森ノ宮医療大学)
7. オッター・モーニッケの新薬紹介と日本の薬物報告相川忠臣(日赤長崎原爆病院) アンドレアス・メッテンライテル(ビュルツブルグ大学)
8. 中津「バスタールド辞書」とその背景について ミヒェル・ヴォルフガング(研医学会)
9. 在村蘭方医熊谷珪碩『病家示要訓』(天保15年)にみる看病人の心得平尾眞智子(健康科学大学)
10. 後藤良山の「復古」医学—「医」と「薬」に注目して 向静静(立命館大学)
11. 良山を始祖とする「医家後藤家」の系譜と墓所の現状について 今井秀(今井整形外科)
12. 彌生園会計簿明治三十六(1903)年にみる開業医の生活 田中祐尾(大阪市立大学)
13. 海上随鴟「解観左券」について 西嶋佑太郎(天津赤十字病院)
14. 「養生訓」にみる叩齒 西巻明彦(北里大学東洋医学研)
15. 『衛生文庫』と黒川真頼・真道旧蔵本 吉川澄美(理化学研究所)
16. 「唾」に対する古代日本人の認識について 野田亨(藍野大学)

〈特別講演〉

特別講演 熱いお灸医療のはじまり—中国古代の出土資料から—

北里大学客員研究員・当会監事 猪飼祥夫

〈紙上発表〉

スウェーデンにおける乳幼児ナショナルプログラム

小野尚香(畿央大学)

新出の『黄素妙論』の封面について

永塚憲治(研医学会)

以上全口演の抄録は機関誌『醫譚』111号に収載します。(2020年6月発行予定)

▽支部機関誌『醫譚』109号 令和元年7月15日発行

支部機関誌『醫譚』110号 令和元年12月25日発行

上述機関誌の収載目次は関西支部メールアドレス(下記)をお開き下さい。

〒581-0003 大阪府八尾市本町5-1-7 田中医院内 日本医史学会関西支部事務局(田中祐尾)

☎: 072-922-2028 FAX: 072-993-1237 HP: <http://mhkansai.umin.ne.jp/>

京都医学史研究会

▽2019年度 第120回 日本医史学会参加(5月18日, 19日)(於)ウインクあいち

口演『道元の死』葉山美知子(京都医学史研究会)

▽京都府医師会 学術生涯研修講演会

講演:『健康と茶の効能—21世紀からの視点で—』

講師:岩間真知子先生(静岡県茶の都ミュージアム客員研究員)

日時:10月3日 14:30~16:00(京都府医師会館)

▽醫道顕彰会 例大祭および講演会

講演:『生病老死と看護—看護理論家たちの教えから—』

講師:豊田久美子先生(京都看護大学 学長)

日時:10月14日(体育の日) 16:00~17:00(今熊野観音寺)

▽京都府医師会 学術生涯研修講演会—新型コロナウイルス流行のため中止

講演:『ポルトガルキリシタン医師ルイス・アルメイダと16世紀戦国日本』

講師:葉山美知子(京都医学史研究会 会長)

日時:3月19日(京都府医師会館)

▽山脇東洋墓参(京都誓願寺)3月21日(予定)

山脇東洋観臓記念碑献花(京都盟親)

(京都医学史研究会代表 葉山美知子)

広島医学史研究会

広島医学史研究会・岡山医学史研究会 合同学術集会

日時:令和2年1月11日(土) 14:00~

場所:広島大学医学部基礎講義棟 第一講義室

1. 広島医学史研究会総会

2. 開会の辞 大会長 広島国際大学 薬学部 生薬漢方診療学 教授 中島正光

3. 特別講演 座長 広島大学医学部長 秀道広

○「漢方一貫堂医学を探る」 広島国際大学 薬学部 生薬漢方診療学 教授 中島正光

4. 広島医学史研究会・岡山医学史研究会 合同発表会

座長 広島国際大学 客員教授 千田武志

演題1 第三高等学校医学部の外科講義ノート

広島大学 森戸国際高等教育学院 准教授 小宮山道夫

演題2 岡山藩における御目見医者

中島醫家資料館主任研究員・岡山大学医学部客員研究員 木下 浩

演題3 九州大学医学部の原爆学術調査—第一内科・操坦道と第三内科・榎屋富一—

広島大学 原爆放射線医科学研究所 久保田明子

座長 広島国際大学 保健医療学部 教授 隅田 寛

演題4 ギリシャの医史跡を訪問して—アスクレピオンとヒポクラテスの木の紹介—

岡山県 木村医院 木村 丹

演題5 広島市西避病院(のち広島市立舟入病院)開院の経緯と医師の果たした役割

広島国際大学 客員教授 千田武志

演題6 吉益家伝来の和歌・漢詩并「万病一毒」軸(仮)その一

広島大学名誉教授 狩野充徳・元広島大学医学部 川和田晶子

5. 閉会の辞 会長

広島大学医学部長 秀 道広

福岡地方会

令和元年度福岡地方会は、下記の通り2度の研究発表会を開催いたしました。

次年度も例年通りほぼ同じ日程で2度(2月・8月)の開催予定です。

第35回 福岡地方会

開催日時：令和元年8月10日 13:30～17:00

会場：福岡ガーデンパレス(福岡市中央区天神4-8-15)

参加者数：20名(発表者を含む)

【発表者・演題】

井口 潔	メタ・ルネッサンスの提唱
上園 慶子	眼科藩医九代田原養柏貞一 1. 福岡における活動
木村専太郎	鈴木梅太郎について
小林 晶	冷遇されてきた軟骨
権藤 寿昭	多才な病理学者ウィルヒョウ
佐藤 裕	「福岡博物學會」関係資料
鈴木 友和	近世藩立医育施設の隆替
原 寛	江戸時代「蘭学の三段階」と年表
丸山マサ美	九州大学看護学校1回生 三浦テイ子筆 “ナイチンゲール誓詞”
山家 滋	平壤醫學専門學校から日本炭礦中央病院に渡った朝鮮人医師・桂範淳先生～朝鮮半島出身の炭鉱労働者の福利厚生と九州帝国大学第二内科の貢献・第一報～

第36回 福岡地方会

開催日時：平成30年2月9日 13:30～17:00

会場：福岡ガーデンパレス(福岡市中央区天神4-8-15)

参加者数：21名(発表者を含む)

【発表者・演題】

ヴォルフガング・ ミヒエル	新日本古典籍総合データベースについて
上園 慶子	福岡藩における眼科診察日確率の経過について
木村専太郎	パブリックスピーキング
小林 晶	アンブロワーズ・パレの箴言について
権藤 寿昭	森鷗外の小倉赴任（左遷？ではなく）～陸軍中枢部の思惑～
佐藤 裕	大河内和や河嶋養林らの石碑が九大病院構内の片隅に野づみになっていることを嘆く手紙を紹介
鈴木 友和	近現代の医育機関に見る近世藩立医育施設の面影
原 寛	日本の医学教育の変化
丸山マサ美	医療における人間性教育―歴史に学ぶ感性能力の発掘―
横山 尊	福岡県の禁酒運動と医学者

資料1

貸借対照表

2020年3月31日現在

科 目	金 額	備 考
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金	28,180	
預金	5,774,942	
流動資産 合計	5,803,122	
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
基本財産 合計	0	
(2) 特定資産		
特定預金	8,211,748	
矢数医史学賞基金	7,723,171	
富士川游学術奨励賞基金	3,367,306	
特定資産 合計	19,302,225	
(3) その他固定資産		
華岡碑	3,343,680	
その他固定資産 合計	3,343,680	
固定資産 合計	22,645,905	
資産 合計	28,449,027	
II 負債の部		
1. 流動負債		
前受金	2,850,000	
預り金	42,710	
流動負債 合計	2,892,710	
2. 固定負債		
固定負債 合計	0	
負債 合計	2,892,710	
III 正味財産の部		
1. 一般正味財産		
正味財産 合計	25,556,317	

資料2

正味財産増減計算書

自 2019年4月 1日
至 2020年3月31日

科目	金額	備考
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
① 会費収入	7,387,749	
② 助成金	1,780,000	
③ 寄付金	1,170,000	
経常収益計	10,337,749	
(2) 経常費用		
① 学会誌刊行費	4,178,494	
② 事業費	1,035,750	
③ 人件費	2,789,686	
④ 会議費等	74,585	
⑤ 旅費交通費	616,489	
⑥ 通信・運送費	164,753	
⑦ 事務費	76,592	
⑧ 支払手数料	150,000	
⑨ 医学会負担金	85,100	
⑩ 減価償却費	74,304	
⑪ 雑費	23,081	
⑫ 予備費	49,680	
経常費用計	9,318,514	
当期経常増減額 = (1) - (2)	1,019,235	
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益		
① 受取利息	165	
経常外収益計	165	
(2) 経常外費用		
① 名簿製作費	266,200	
経常外費用計	266,200	
当期経常外増減額 = (1) - (2)	-266,035	
当期一般正味財産増減額 = 1 + 2	753,200	
一般正味財産 期首残高	24,803,117	
一般正味財産 期末残高	25,556,317	
II 正味財産期末残高	25,556,317	

定款第31条に従い、2019年度の資産及び会計について監査した結果、理事の職務執行に不備の点はなく、決算報告書は正確かつ妥当であることを認めます。

2020年4月8日

監事

鈴子 吳 仁 

監事

鈴木 達彦 

資料3

2020年度予算

科目	決算	予算	備考
	自 2019年4月 1日 至 2020年3月31日		
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 会費収入	7,387,749	8,000,000	
② 助成金	1,780,000	800,000	
③ 寄付金	1,170,000	500,000	
経常収益 計	10,337,749	9,300,000	
(2) 経常費用			
① 学会誌刊行費	4,178,494	4,000,000	
② 事業費	1,035,750	1,000,000	
③ 人件費	2,789,686	2,900,000	
④ 会議費等	74,585	70,000	
⑤ 旅費交通費	616,489	600,000	
⑥ 通信・運送費	164,753	200,000	
⑦ 事務費	76,592	60,000	
⑧ 支払手数料	150,000	150,000	
⑨ 医学会負担金	85,100	90,000	
⑩ 減価償却費	74,304	74,304	
⑪ 雑費	23,081	30,000	
⑫ 予備費	49,680	100,000	
経常費用 計	9,318,514	9,274,304	
当期経常増減額 = (1) - (2)	1,019,235	25,696	
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 受取利息	165	165	
経常外収益 計	165	165	
(2) 経常外費用			
① 名簿製作費	266,200	0	
経常外費用 計	266,200	0	
当期経常外増減額 = (1) - (2)	-266,035	165	
当期一般正味財産増減額 = 1 + 2	753,200	25,861	
一般正味財産 期首残高	24,803,117	25,556,317	
一般正味財産 期末残高	25,556,317	25,582,178	
II 正味財産期末残高	25,556,317	25,582,178	

雑 報

寄贈本リスト

【単行本】

- 吉元昭治『養生外史—不老長寿の思想とその周辺—日本篇』「たにぐち書店」2019
 吉元昭治『養生外史—不老長寿の思想とその周辺—中国篇』「たにぐち書店」2019
 吉元昭治『伊勢屋と犬の伊勢参り』「勉誠出版」2019
 圭介文書研究会編『伊東圭介日記第二十五集』「名古屋市東山植物園」2019
 安田登, 久保寺司, 水谷惟紗久『歯科医療のシステムと経済』「日本歯科新聞社」2020
 吉元昭治『老荘とその周辺—古代中国医学の源流および書家・道教との関り』「たにぐち書店」2019
 香西豊子『種痘という〈衛生〉—近世日本における予防接種の歴史—』「東京大学出版会」2020
 東北大学医学部開設百周年記念委員会『東北大学医学部開設百周年記念写真集』2020
 町泉寿郎編『講座 近代日本と漢学 第3巻 漢学と医学』「戎光祥出版」2020
 吉元昭治『不老長寿への旅—ニッポン神仙伝』「たにぐち書店」2020
 友部和弘『刺絡の道—三輪東朔から工藤訓正』「たにぐち書店」2020
 田野俊平・梶谷光弘『西洋医学受容から衛生思想普及までの通のり』「松江市歴史まちづくり部史料編纂課」2020
 吉元昭治『『道教と医学』論文集』「たにぐち書店」2020
 吉元昭治『吉元昭治論文集』「たにぐち書店」2020
 『はたごまち文庫第4号』2020
 ミヒェル・ヴォルフガング, 吉田洋一, 大島明秀 共編『中津市歴史民俗資料館 分館医家史料館叢書 XIX 史料と人物 VII』「中津市教育委員会」2020
 『日本医師会 平成三十年の歩み』「日本医師会」2020
 佐賀大学地域学歴史文化研究センター『絵本鍋島直正—「鍋島直正公御実歴一百回」を読む—』2020
 小川徳雄, 永坂鉄夫『英語医学用語—その語源をたどる』「東京教学社」2020
 片桐一男編『対外関係と医学・医療』「洋学史研究会」2020
 『国際教養大学アジア地域研究連携機構研究紀要』「国際教養大学」2020

【別 刷】

- 『近江の種痘と種痘医・中村雄哉について』古西義麿「御影史学論集」(44)
 『松江歴史館所蔵 芦田家文庫目録』渡部良平, 八幡一寛「松江歴史館研究紀要」(7)
 『萩藩の天然痘予防接種について』石川敦彦「山口県地方史研究」(122)
 『学術集会の国際化をみんなで考えるシンポジウム—国際主要学会における国際化の現状調査アンケート結果』石原尚子「脳と発達」日本小児神経学会 52 (3)

【雑 誌】

- 『あいまっく』40 (4), 41 (1-2) 国際医学情報センター
 『BIBLIA』(152-153) 天理図書館
 『Chinese Journal of Medical History』49 (5-6), 50 (1-3) Chinese Medical Association
 『Chinese Medical Journal』132 (17-24), 133 (1-16) Chinese Medical Association
 『だより (練馬区医師会)』(621-631) 練馬区医師会

- 『北陸医史』(42) 北陸医史学同好会
『醫譚』(通刊 127-128) (復刊 110-111) 日本医史学会関西支部
『いわちどり(小笠医師会誌)』(47) 小笠医師会
『除痘館記念資料室だより』(13) (財) 洪庵記念会. 除痘館記念資料室
『漢方の臨床』67(1-10) 東亜医学協会
『啓迪』(34) 京都医学史研究会
『神奈川県医学会雑誌』46(2), 47(1-2) 神奈川県医師会
『明治薬科大学研究紀要』(47) 明治薬科大学
『名古屋大学大学文書資料室紀要』(28) 名古屋大学大学文書資料室
『日本医師会雑誌』148(9-12), 149(1-11) 日本医師会
『日本歯科医史学会誌』33(3-4) 日本歯科医史学会
『鳴滝紀要』(30) シーボルト記念館
『労働の科学』74(10-12), 75(1-9) 労働科学研究所
『斯文』(135) 斯文会
『STETHOSCOPE』(234-237) 日本医学切手の会会報
『適塾』(52) 適塾記念会

日本医史学会への寄付金について

2019年の日本医史学会理事会・社員総会において、学会の財政状況についてご報告し、財政の安定化のためにご寄付をお願いしたところ、数多くの会員の方たちのご厚意により、2020年3月までに3,040,000円のご寄付を頂戴することができました。このご寄付により学会の財政基盤を大きく改善することができました。学会から感謝の意を表するために、寄付者のお名前を以下に掲載させていただきます。

2019年度寄付者

・100万円以上

坂井 建雄

・10万円以上

アジア神農国際交流協会

大幸 俊三

木村専太郎クリニック

社会医療法人玄真堂

山口 静子

・5万円以上

泉 孝英

株式会社協通事業

佐藤 裕(山形)

澤井 直

宮川美知子

・2万円以上

今井 秀

神内 國榮

中澤 淳

中山 茂春

西巻 明彦

保坂 義雄

真柳 誠

山内 一信

・2万円未満

相川 忠臣

青木 歳幸

青島 敏行

家本 誠一

石原 克哉

板野 俊文

市川 友理

岩間真知子

上園 慶子

逢見 憲一

岡田 靖雄

小形 利彦

荻原 通弘

角 泰人

笠原 康弘

梶谷 光弘

金子 譲

川嶋 真人

北村 正敏

木村 丹

杏澤 宣賢

久保田智樹

桑原 正彦

権藤 寿昭

島田 保久

志村 俊郎

新藤 恵久

杉田 洋一

須磨 幸蔵

高橋 薫

滝澤 淳

戸村 光宏

中神 源一

長野 仁

野口 大輔

長谷川一夫

濱田 新七

原 桃介

肥田美佐子

平尾真智子

福川 裕徳

福本 正勝

藤田 典己

牧野 洋

正岡 太郎

松浦 洋子

松岡順之介

松田 隆秀

松村 紀明

三上 正利

水谷惟紗久

宮武 光吉

望月 篤

森迫富久美

森迫 和仁

矢永 尚士

山崎 正寿

吉川 澄美

若尾 みき

和田 源司

渡部 幹夫